

## Montessori ちゃいるどほうす中吉田事業報告

平成31年3月23日  
地球の子ども株式会社  
代表取締役 乾 泰代

### 1. 事業目的と役割

国から示された「子ども子育て新制度」に基づき、全ての子どもたちが平等に教育を受けられるように養護と教育の一体化を図りながら、環境を通して子どもと大人が主体的に関わる保育を行う。また、保護者との連携を図りながら共通理解を持って地域の子育て支援を充実させるために、必要な援助を行う。

### 2. 保育所の運営（入園時に配布した重要事項説明書に記載済）

#### (1) 沿革・経営組織

#### (2) 開所日

月曜日～土曜日

#### (3) 開所時間

7:30～18:30（延長保育18:30～19:00）

#### (4) 休園日

日曜日、国民の祝日及び休日

年末年始（12月29日～1月3日）

法人が特別必要と認めた日

#### (5) 年齢別入所児数（3月1日現在）

0歳児 12名

1歳児 11名

2歳児 12名

3歳児 9名

4歳児 9名 合計53名

#### (6) 職員数（3月1日現在）

21名（園長1名 常勤保育士10名 パート保育士3名 保育補助2名 バイリンガル講師1名 言語聴覚士1名 調理員2名 保育事務主任1名）

#### (7) 職員資格等

- ・保育士・幼稚園教諭・小中高特別支援学校教諭・言語聴覚士・栄養士・調理師
- ・レクリエーションインストラクター・幼児体育指導者・モンテッソーリ教育教師
- ・子育て支援員・児童厚生指導員・社会福祉主事・児童福祉司・知的障害者福祉司
- ・家族療法カウンセラー・チャイルドカウンセラー・行動心理士・チャイルドコーチングカレンダー・保育所長研修修了者・保育所主任保育士研修修了者

- ・整備管理者・防火管理者・衛生推進者

(8) 職員会議の開催状況

組織としての各分野のリーダーの育成と配置、各職員が専門性を認識し、発揮できる役割分担の徹底と協力体制の弾力化を目標に以下の会議を開催。

- ・職員全体会議（年1回4月）
- ・業務会議（第1火曜日の午睡時）  
各行事の内容検討と反省、クラス毎の給食会議、月案に基づく環境会議、安全管理、危機管理、ヒヤリハット、事例検討
- ・研修会議（第3火曜日）  
モンテッソーリ教育基礎研修、月案に基づく環境研修会議
- ・給食会議（第4火曜日の午睡時、各クラス4か月に1度）
- ・環境会議（第4火曜日の午睡時、給食会議のないクラス）

(9) 職員研修についての取り組み

- ・円滑な運営と職員の質の向上を図る為、職員全員参加の職員研修及び園内外研修他、各種研修を積極的に実施。（研修実施状況については別紙参照）
- ・職員の研修参加費用、旅費、交通費全額支給、宿泊の場合出張手当あり
- ・毎月の園研修参加者には勤勉手当を支給（半日2000円、一日7000円）
- ・モンテッソーリ実践講師による保育現場での実践研修（毎月1週間）
- ・モンテッソーリ教師資格取得希望者には養成コース費用の全額補助
- ・新人入社時研修  
新卒者研修（2月～3月水戸ちゃいるどはうす森の保育園にて3週間）  
新人研修（2月～3月水戸ちゃいるどはうす森の保育園にて2週間）

(10) 職員の保育計画・記録について

一人一人の成長発達にあった環境づくりを達成する為に、個別の月報、週案、日報（0歳児～2歳児までの観察記録）の作成。

- ・児童票に基づく月案作成（毎月）
- ・月案に基づく週案作成（毎週木曜日の午睡時）
- ・日報（観察記録0歳～2歳）
- ・活動記録日誌（3歳～就学前）

(11) クラス編成について

【1階フローア】

環境との信頼関係・運動の獲得・言葉の獲得・身辺自立を目標に、個別の発達段階に合わせた保育を推進するため、個人差の大きい0歳から3歳までの成長を4段階に分けて環境を構成し、個々の発達段階に応じた保育環境の実現を図る。

- 1段階目 歩けるようになるまで
- 2段階目 10歩くらい安定して歩けるようになった頃
- 3段階目 座って手指の活動ができるようになった頃、言葉が増える頃
- 4段階目 着脱、排泄、食事など、日常生活の自立に向かって、自分の事を自分でや

りたい頃

1階フロアの歳児別グループ名は以下の通り。

プーポ組（0歳児）ピッコロ組（1歳児）ピッチーノ組（2歳児）

## 【2階フロア】

自分のことが自分でできるようになり、集団でのルールがわかるようになってから、それまでに獲得した運動機能をより洗練しながら、お友達と一緒に知的好奇心を探求していく就学までの縦割クラス。モンテッソーリ実践講師による日常生活の練習・感覚教育・算数教育・言語教育・文化教育（音楽、美術、体育、理科、社会、食育）などの各分野の専門的な援助を行う。

2階フロアの歳児別グループ名は以下の通り。

マーレ組（年少）テラ組（年中）チェーロ組（年長）

### （12）給食の実施状況

（乳児）園児の発育状況に合わせ、離乳食から普通食への給食の実施

（1歳児以上）園児の発育状況に合わせ、完全給食の実施

（2歳児以上）バイキング給食

（保護者）給食参観会

（特別給食）行事ランチ・年度末お弁当ランチ・戸外活動用お弁当

（給食献立表）毎月配布 本日の献立の写真掲示および明日の献立表示（毎日）

（食育）子どもと食べ物の10の健康な関係の提案

- ① 離乳期を大切に過ごす。
- ② 子どもが食べたくないことを大切に考える。
- ③ 無駄な間食をしない。
- ④ 食事の瞬間を楽しい時とする様に努める
- ⑤ 食べてしまうよう強制しない
- ⑥ 食事を処罰に使わない
- ⑦ 食事のルールは守る
- ⑧ 食べ物を粗末にしない。
- ⑨ 子どもが自分の量や、好みの選択ができる余地がある事。
- ⑩ 食事を楽しむ事

以上10項目の子どもと食べ物の健康な関係の提案をしながら、子どもの健康で健やかなる身体作りを目標としている。そのために、安心安全な楽しい給食の提供に努めるとともに、子どもが生活と遊びの中で意欲を持って食に関わる体験を積み重ねることで、食事を共に楽しみあう子どもに成長することを願って食育給食を推進していく。

### (13) 健康管理の実施

- ・ 医師による園児の健康診断  
村上小児科（村上仁）年2回実施
- ・ 歯科医師による園児の歯科検診  
かめやま歯科（亀山太一）年2回実施
- ・ 歯科衛生士による歯みがき指導（年1回 3歳児以上）
- ・ 身体測定 毎月1回
- ・ 職員の定期健康診断 年1回
- ・ 職員の検便検査 月1回  
（赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌0-157・腸チフス・パラチフス）

### (14) 保護者との連携

保育は保護者と共に子どもを育てる営みであり、子どもの24時間の生活を視野に入れ、保護者の気持ちに寄り添いながら家庭との連携を密にすることが大切である。

積極的に乳幼児の子どもを育ちを支え、保護者の養育力向上につなげていけるように、以下の方法で『食事』『生活リズム』『衛生』『健康』『子育てについての精神的不安解消』のアドバイスをしている。

- ・ 相談室の開設（常時）
- ・ 子育て講演会の実施（4月）
- ・ ホームページでの情報公開と更新（常時）
- ・ 待合室の掲示板での情報公開と更新（常時）
- ・ 連絡帳（随時）
- ・ 園だより（月1回）
- ・ クラスだより（季節ごと年4回）
- ・ 子育て参考資料の配布（不定期）
- ・ その他お知らせ（不定期）
- ・ 苦情解決システム設置
- ・ 地域の各機関との連携

### (15) 地域との交流

- ・ 近隣住人・消防署・美術館・日本平動物園・ショクザイ・保育実習生やボランティア活動の受け入れ（小中高生・大学生、専門学校生、等）

今年度は、賤機中学校の特別支援学級の生徒が幼児保育体験実習でたくさんのおもちゃを作って当園に遊びに来てくれたり、ハロウィンで近隣の方にお菓子をいただいたり、勤労感謝の日にマーレ、テーラ組がクッキーを焼き「ありがとう」のメッセージをそえて近隣のお世話になっている方々にお渡した。

### (16) 補助事業

- ・ 延長保育 18:30～19:00

### (17) 施設の整備

- ・ 音楽室の整備

- ・カプラー室の整備
  - ・美術室の整備
  - ・日本文化の間の整備
  - ・セコムセキュリティーサービスの設置
  - ・防犯カメラの設置（玄関前駐車場、園庭、ホール、調理室、各クラス）計 8 か所
- (18) 機能強化推進事業 総合防災対策のための必要な修繕・物品管理
- ・食料・水（全園児・全職員 3 日分昨年度購入済み）
  - ・避難用具・災害時用品
  - ・移動車 1 台（2 台目）
  - ・AED の設置 1 台（毎年更新）
  - ・その他カセットコンロ等昨年度購入済み
- (19) 非常災害防止の実施状況
- ・避難訓練 毎月一回 総合防災訓練年 1 回
  - ・交通訓練 園外活動時毎回実施
  - ・交通安全教室（2 階クラス）
- (20) 第三者委員会の設置
- ・掲示板・ホームページによるご意見・ご要望・苦情についての窓口の設置
- (21) 感染症予防対策
- ・次亜塩素酸を使って床、教具の消毒（一日 2 回実施）
  - ・おむつ交換は、使い捨て手袋を使用
  - ・おむつの持ち帰り無し（園で処分）の実施
  - ・加湿空気清浄器を各クラスに設置
  - ・温湿度計の設置。
  - ・洗濯物を分けて洗濯（床拭き、床以外）
  - ・20 分に一度の給水
  - ・手洗い、うがい指導の実施
- (22) 駿河区消防署監査（4 月）  
防火管理者 園長 遠藤千砂子  
須藤商会の第三者確認済み
- (23) 行政監査（1 月）  
指摘事項なし

### 3. 保育理念

『Montessori ちゃいるどはうす』は生命の保持と情緒の安定を土台とし、3 つの視点、保育指針の 5 領域、の相互関係、小学校までに育ててほしい 10 の姿までの総合的関わりを重視している。モンテッソーリ教育法と自然体験活動を融合させた内容で、世の中にある、ありとあらゆることに対しての子ども達の興味関心を大切に、実際に体験することで、全ての子どもが持っている『生きる力』を子ども達自身が発見し、育成していく場を愛と知識

を持って提供する。

#### 4. 30年度保育目標について

- ・たくさん遊び 元気な身体が育つ
- ・自分の事を自分でやりたい意欲が育つ
- ・自分で感じて自分で考える楽しさが育つ
- ・物事に感動する 豊かな感性が育つ
- ・人を思いやる 優しく強い心が育つ
- ・生きる力を子ども自身が育成できる
- ・大切な一人の人間としての全人格の形成ができる

#### 5. 保育方針

養護と教育の一体を図るために以下の特別教育を実施。

##### ❁自然教育

子どもたちが自然の不思議さや素晴らしさに出会い、発見する機会をできるだけ多く提供できるよう、生物室や畑や毎日の散歩を設定。ありのままの自然を体験しながら、自然の一部である自分を愛する心と尊い自然を守る気持ちを育む。

(生物室)

近所の方や、園長知り合いから金魚とメダカをいただいて飼育する活動から始める。その他、散歩の途中で見つけたバッタやおおむし、セミの抜け殻、ダンゴ虫等々。2階には生物室を設置し様々な生物を飼育し子どもたちが「生物係」の役割をもって飼育。園庭隅には「生物のお墓」スペースがあり、「生」から「死」まで責任をもってお世話する気持ちを育む。

- ・魚類 金魚 メダカ
- ・両生類 ウーパールーパー
- ・昆虫類 カブトムシ クワガタ
- ・その他 カタツムリ サワガニ

(畑)

2月 ジャガイモ植え付け (マーレ・テラ)

4月 夏野菜の植え付け：トマト・きゅうり・オクラ・ピーマン・パプリカ・枝豆  
(マーレ・テラ)

5月 ジャガイモ収穫 ○クッキング：カレーライスに使用

6月 さつまいも植え付け

7月～8月 夏野菜収穫 ○トマト：園庭で試食  
○きゅうり：たたききゅうりにして試食  
○オクラ、枝豆、ピーマン：茹でて試食  
○パプリカ：給食で使用

9月 冬野菜植え付け：苗・ブロッコリー・カリフラワー・キャベツ・芽キャベツ

・白菜

種・人参・ほうれん草

- 10月 さつまいも収穫 ○クッキング：スイートポテトに使用  
◇つるでクリスマスリース作り（マーレ・テラ）
- 11月～12月 冬野菜収穫 ○ブロッコリー、カリフラワー：茹でて試食  
○キャベツ：クッキングでお好み焼きに使用  
○芽キャベツ：給食で使用  
○白菜：ちぎって塩昆布と混ぜて浅漬けで試食  
○人参・ほうれん草：生で試食 残りは給食

(花壇)

子どもたちが自由に摘んで、保育室に飾りやすい草花の種類を主体に植栽

→摘んだあとも次々につぼみがつく、茎が長い、茎が強い、開花時期が長い

- ・春 チューリップ、ムスカリ、ビオラ、姫金魚草
- ・夏 マリーゴールド、日日草、金魚草、ジニア、トレニア、ブルーサルビア
- ・秋～冬 マリーゴールド、ジニア、千日紅、コリウス、
- ・通年 ハーブ（ローズマリー、レモンバーム、タイム）※触って香りを感じられる

12月は、子どもと一緒にチューリップの球根を植える

外の壁面下は危険防止も含めプランターを並べる（通年常緑の宿根草を主体に植栽）

(散歩)

中吉田公園、中ノ郷公園、谷田宮の後公園、谷田芝生広場、県立美術館、熊野公園、  
国吉田公園、瀬名川南公園、瀬名川公園、ひょうたん塚公園、静鉄電車の線路まで

❁モンテッソーリ教育（全クラス）

子どもの発達の課題は、運動の獲得・言葉の獲得・意志の発達・知性の発達・社会性の発達・感覚の発達等、共通している。それらの発達の課題は、大人が教えるのではなく子どもが興味のあるものに自分から体を使って感じて動きを通して獲得されていく。発達の課題は、時期と順番があらかじめ子どもの遺伝子にプログラムされていて、子どもに内在している『自己教育力』により、適切な環境に関わることによって健やかに成長していく。このベースになる考え方は、マリア・モンテッソーリが100年以上前に子どもを観察し子どもから発見したことだが、現在は、医学や科学が進歩し子どもは安心安全な環境との適切な関りによって成長するという事が証明され、世界で共通の考え方になった。

子どもの発達の課題は共通していても、発達の速度や個々の興味関心は様々なので今年度も『モンテッソーリ教育法』の考え方をベースに子どもが主体的に個々の発達に見合った環境と関わりながら成長できるようにという願いを込めて環境を整えた。

毎日の生活の中で、発達段階に応じて以下の分野の活動を展開している。

- ・日常生活の練習・感覚教育・言語教育・算数教育・文化教育
- ・平和教育・音楽・美術・造形

#### ❁バイリンガル教育（全クラス）

日々、進化していく世界を感じ、新しいものや考え方を受容し、応答しながら、あらゆる違いを受け入れられるたくましい精神を育てていく。バイリンガル教育導入により言葉の違い、文化の違い、感じ方の違い、考え方の違いなど、自分と他者のいろいろな違いを体験しながら豊かな心とグローバルな平和教育を目指して取り組んでいる。

#### ❁スイミング

小学校までに『育ってほしい10の姿』をベースとした幼少期の取り組みとして年間20回程度中田スイミングスクールにて水泳指導を受ける。健康な心と体・自律心・道徳心の芽生え・規律意識の芽生え・いろいろな人とのかかわり・自然とのかかわり・生命尊重、公共心・言葉による伝え合い・豊かな感性と表現などを育てていく。

#### ❁日本文化体験プログラム（2階クラスとピッチャーノクラス導入）

華道、書道、茶道等日本独特の美しく豊かな文化を体験し、和を尊ぶ心を養っていく。

#### ❁クッキング（歩けるようになって手が使えるようになってから）

週に1回のクッキングの活動では以下の物を作っておやつなどで試食した。

バナナの皮むき、みかんの皮むき、枝豆の皮むき、ゆで卵の殻むき、クラッカーサンド  
シャーベック、スイートポテト、たたききゅうり、白玉団子、ホットケーキ、クッキー  
みかんジュース、ヨーグルトカップケーキ、お好み焼き、たこ焼き、チョコたこ焼き、  
たこ焼き風アメリカンドック、おにぎり、庭で収穫した野菜で即席漬物、等

#### ❁リトミック（2歳児頃から）

楽しく音楽と触れ合いながら、生物の進化に学んだ“さくらさくらんぼリズム”により、子どもの心と体が、身体的、感覚的、知的にも、これから受けるあらゆる教育を十分に吸収し、それらを足がかりに大きく育つ可能性を広げていく。

#### ❁発達支援（個別の支援の検討・計画・実施・反省）

すべての子どもにそれぞれ個性があるように、その成長の仕方も様々である。同じ環境であっても困り感を抱え、それをうまく表現することが苦手な子どももいる。保育園という集団生活の中で、個々の子どもの成長や気持ちに寄り添い、子どもが自立していくために必要な支援を行っていく。



## 6. 特別教育会計報告

### \* 30年度モンテッソーリ教育費会計報告

(収入) 保護者徴収費	<u>622,000円</u>	(協力金にて毎月一人1,000円)
(支出) 外部講師代	1,720,000円	
教具代金	307,340円	
		(音感ベル・色板第三箱・幾何タンスセット・色付き円柱パターンカード他)
職員研修参加費	732,905円	
支出合計	<u>2,760,245円</u>	

**収入－支出 = 2,138,245円 (園負担)**

### \* 30年度バイリンガル教育費会計報告

(収入) 保護者徴収費	<u>622,000円</u>	(協力金にて毎月一人1,000円)
(支出) 講師代	<u>2,235,000円</u>	

**収入－支出 = 1,613,000円 (園負担)**

### \* スイミング徴収費会計報告

(収入) 保護者徴収費	<u>400,800円</u>	(一人一回1200円)
(支出)	<u>400,800円</u>	
<b>収入－支出 =</b>	<b>0円</b>	

**\* 来年度からは、中田スイミングさんのご厚意で、一人一回1000円**

### \* 日本文化体験プログラム会計報告

(収入) 保護者徴収費	<u>0円</u>	
(支出) 外部講師代	<u>70,000円</u>	
教材費	<u>118,369円</u>	

**収入－支出 = -188,369円 (園負担)**

## 7. 主な行事

- 5月 親子遠足 1階日本平動物園 2階蓮華寺池公園（観光バス利用）  
こどもの日こいのぼり集会
- 6月 保育・給食参観会
- 7月 七夕・交通機関を利用したの清水の七夕見学（マーレ・テラ）  
地域子育て支援事業『英語 de ベビーリトミック』
- 8月 草薙と合同夏祭り
- 9月 草薙と合同乳児親子リクリエーション大会（0，1歳児）
- 10月 ハロウィン
- 11月 草薙と運動会（中吉田公園）（2歳児以上）
- 12月 クリスマス会  
地域子育て支援事業『わらべ歌 de ふれあい遊び』
- 2月 節分
- 3月 ひな祭り お弁当ランチ
- 3月 はばたきの会

## 8. 新たな取り組みの実施について

- ・年少クラスからのスイミングを実施
- ・2階美術室を設置（自然物を使った絵画・粘土・工作等）
- ・2階日本文化の間を設置（茶道・華道・書道）
- ・2階音楽室の設置（様々な楽器体験・合奏）
- ・2階積み木の部屋にてカプラを設置（積み木・レゴ・ラキュー等）
- ・1階クラスと2階クラスが分かれての親子遠足を実施
- ・発達段階を配慮した乳児親子レクリエーション大会と運動会を開催
- ・合同夏祭りを実施
- ・地域子育て支援事業の実施
- ・親子でモンテッソーリ教育体験の実施
- ・交通安全教室、人権教育、粘土教室の実施（2階クラス）

## 9. 来年度の新たな取り組みの計画

- ・自然教育の充実
- ・園外活動の充実
- ・積み木教室
- ・フッ化物洗口事業（4．5歳）
- ・お別れ遠足の実施
- ・卒園式の実施
- ・年長児卒園積立金の値上げ（200円から300円）  
（卒園証書・卒園記念品等の準備金に充てるため）